

授業科目 スポーツ人類学

【担当教員名】 小田切毅一	対象学年	3	対象学科	スポーツ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】
 人類学という視野からみた人間のスポーツの営みを、広く世界の文明化の過程を視野に入れながら概説する。人類の普遍的な行動様式としてのスポーツと人間との不可避的なかわりについて理解を深める。

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

- ・スポーツの起源論や、未開社会における身体＝運動文化の特徴について理解を深める。
- ・古代や中世の時代にも遡る伝統的な社会に広がる民族的スポーツの事例に触れながら、スポーツへの理解を深める。
- ・ナショナルな枠組みで展開した近代体育や近代スポーツの発展過程を理解するとともに、国民性や民族性への論議に理解を深める
- ・近代オリンピックの展開過程や、イデオロギーとしてのオリビズムへの理解を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	スポーツの概念史、未開社会のスポーツの広がり：紀元論、スポーツと儀礼		
2	祭典競技：古代ギリシャのオリンピア競技に至る歴史人類学考		
3	中世的世界における伝統的な遊びや身体活動		
4	世界の民族スポーツ(1)：球技系の系譜などに着目して		
5	世界の民族スポーツ(2)：格闘技系の系譜などに着目して		
6	近代体育と国民性：いわゆる国民体育論の世界的広がりとは？		
7	スポーツと国民性(2)：イギリススポーツとアメリカスポーツ、日本は？		
8	近代オリンピックのオリビズム考。スポーツにおける「中央」と「周縁」		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	授業に先立って適宜提供			
参考書	寒川恒夫『スポーツ人類学入門』『教養としてのスポーツ人類学』			
その他の資料				

【評価方法】 出欠の実績＋試験ならびにレポート	【履修上の留意点】
----------------------------	-----------

健康スポーツ学科 専門